

## 事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	コミュニティーバス運行事業	コード	14102
-------	---------------	-----	-------

2 担当部課	部等 産業振興部	課等 商業観光課	作成者 大槻 三男
--------	----------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	快適な生活を支え、住み続けたいまち		
		政 策	都市基盤の整備	施 策	幹線道路と交通網の整備
		予算科目	シルキーバス運行事業費	業務委託	全部委託
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	なし		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	買物や通院、通勤通学、公共施設の利用のための移動手段としてシルキーバスを利用する。		
目的	対象者	市民及び観光客	
	意 図	公共交通空白地の解消を図り公共施設の利用促進等に努める。	

5 事業の実施内容		*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
<p>平成12年7月に運行開始となり、市民の足として運行の重要性と必要性が認められている。現在の運行形態は、岡谷市地域公共交通総合連携計画に基づき、市内全地域を網羅できるよう7路線で本格運行となっている。</p> <p>平成28年12月から岡谷市民病院構内に乗り入れを開始するとともに、岡谷駅と岡谷市民病院をターミナルとして運行を開始した。</p> <p>障がい者利用券を導入し利便性の向上を図った。</p>			
前年度の課題への対応	障害者の利便性向上を図るため、障がい者利用券を導入した。		

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	年間利用者数			単位	人
	実績値	133,582	131,409	124,917	
	*指標の説明	シルキーバスの利用者数			
② 成果指標（指標名）	年間利用者数			単位	人
	目標値	140,000	140,000	140,000	139,000
	実績値	133,582	131,409	124,917	
	達成度	95.4%	93.9%	89.2%	
	*指標の説明	年間利用者数			
*目標値の設定方法の説明	第5次岡谷市総合計画前期基本計画（R5）目標値				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	58,569,685	63,065,856	53,751,514	64,357,000
経常経費	49,716,798	54,948,243	53,751,514	
臨時的経費	8,852,887	8,117,613	0	
* 臨時的経費の説明	H29:車両購入費/H30:車両購入費			

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	5,040,000	5,040,000	5,040,000	5,040,000
正規職員の人数(人)	0.63	0.63	0.63	0.63
③ 合計コスト(①+②)	63,609,685	68,105,856	58,791,514	69,397,000
前年度比		107.1%	86.3%	118.0%
財源	63,609,685	68,105,856	58,791,514	69,397,000
一般財源				
内訳	0	0	0	0
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	410	457	471	
前年度比		111.4%	103.1%	
⑤ コストに関する補足説明	利用者数の減による			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
シルキーバス運行事業補助金	件数	1	1	1	1
	金額	58,569,685	63,065,856	53,751,514	64,357,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	58,569,685	63,065,856	53,751,514	64,357,000
	割合	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 95.1%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 89.2%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 利用者の減による運賃収入の減少、車両の修繕費や運行経費の増加による安定した経営基盤の維持とそれに伴う市の負担増。	
	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 定期的に全年齢層への公共交通の利便性のPR活動を行う。 運転免許証自主返納者へ、無料回数券の交付枚数を1枚から3枚へ変更。 運転免許証自主返納者及び75歳以上の方へ、安価で購入できる回数券「おでかけパス」を導入。	
改善方法	改善開始時期	通年

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	------------------------------------------	---